

2021年度 公益社団法人静岡県栄養士会定時総会 議案

日 時 2021年6月13日(日)
12時20分～16時00分
会 場 静岡県男女共同参画センター
あざれあ 6F 大ホール
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 表 彰 会長表彰
受賞者謝辞
4. 来賓挨拶
5. 特別講演
「日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）について
ー改定のポイントと活用方法ー」
講師：学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校
校長 渡邊 智子 先生
6. 議長選出
7. 議事録署名人選出
8. 書記指名
9. 総会成立宣言
10. 議 事
 - (1) 第1号議案 2020年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 2020年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）
及び財産目録承認の件
 - (3) 報告事項 2021年度事業執行計画について
 - ① 2021年度事業計画の件
 - ② 2021年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件
 - (4) その他
11. 閉 会

※新型コロナウイルス感染状況により、オンライン視聴のみに変更する場合があります。

会員各位

紫陽花の花が色を深めるこの季節、本年も通常総会を開催する運びと相成りました。

2020 年度事業におきましては、コロナ感染予防のため、総会・栄養士大会をはじめあらゆる会議・講演会・研修会がリモート開催となりました。会員の皆様のご協力により、内容を変更しつつも、出来る限りの開催をし、多くの会員の皆様の参加をいただきました。

コロナ禍での、2020 年度当会事業において多大なるご支援ご協力をいただいた、正会員並びに賛助会員の皆様には、感謝とともに厚く御礼申し上げます。

日本栄養士会をはじめ関連職能団体の開催する WEB 研修等も、当会ホームページで紹介し、会員の皆様に積極的に活用いただきました。電子的広報活動が着実に広まったこと、Zoom 等の会議や研修会も利点が沢山あることを実感した一年でもありました。

去る 4 月 15 日に（公社）静岡県栄養士会の内部監査も無事済み、2021 年度事業案・予算案作成への準備を理事及び事務局員にて進めてまいりました。そしてここに、正会員各位に報告し承認をいただく準備が整いました。

新型コロナ感染予防対策下での事業の執行は 2 年目に入り、新たな対策を設けての事業の実施が必要と思います。密を避け、個々人が飛沫感染予防対策をし、対面飲食等を避ければ講演会や研修会の開催も可能であると判断し、2021 年度総会並びに特別講演を静岡県男女共同参画センター「あざれあ」の大ホールにて開催することといたしました。

会員の皆様には、会場へ足を運ぶ際の公共交通機関の車中、市中での飲食等十分な感染予防策をしていただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

公益法人総会での決議には会員数の 2 分の 1 の承認を必要とします。同封のハガキにて、第 1 号議案 2020 年度事業報告承認の件、第 2 号議案 2020 年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計画書及び財産目録承認の件）につき、書面をご確認のうえ、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご質問・ご要望につきましては、別紙質問票にてマニュアルに沿って行っていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

2021 年 5 月 吉日

公益社団法人 静岡県栄養士会
会 長 坪 井 厚

第1号議案

2020年度事業報告

1 公益事業

I 公1 科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 健康栄養知識普及事業

開催日	名 称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
7月25日	浜松市集団がん検診	森林文化会館	森口知世枝	74	53
7月26日	浜松市集団がん検診	龍山保健センター	森口知世枝	67	47
10月25日	奈良本ヘルシーウォーク	奈良本公民館	杉本尚子	60	45
計		3	3	201	145

(2) 健康づくり啓発協力事業

開催日	会 場	内 容	担当栄養士	参加人数
11/12	プラサヴェルデ	令和2年度しずおか健康づくりサポーター&県民 連携・協働のつどい in 沼津 新型コロナ対策でブース出展はなく、事例活動発表の形で会場とオンラインで開催された。静岡県栄養士会の概要説明、過去2年間の活動状況を紹介した。 紹介した活動 ・「連携・協働のつどい」 ・「減塩」を中心にだしの食べ比べ体験と健康的な食生活啓発 ・「しずおか元気応援フェア」 ・食事の摂り方や栄養教育、食育への理解を深める ・「食と花の都の祭典」 ・だしの取り方実演と試食、減塩や食生活改善の為のレシピ紹介 ・「ぬまづ健康スポーツ祭」 幼児から高齢者まで食事について考えていただく展示	森平教子	会場 26名 WEB 20名

※10月に開催が予定された「しずおか元気応援フェア2020」は、出展予定でしたが感染症予防のため開催中止となりました。

(3) 在宅介護者食生活支援研修会

新型コロナ対策のため対面での研修会を行わず、食形態チェック、安全な食形態について、参考レシピを盛り込んだ、在宅介護者の食生活支援につながるリーフレットを作成した。来年度以降の研修で参加者に配布する予定。

A 4版、8頁、カラー、400部印刷

(4) 管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修事業業務【静岡県健康増進課委託事業】

令和元年5月「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」の改正が行われ、これまで医療保険と介護保険の連携が取れず、高齢者への保健事業の取り組みが薄かった部分を改善するため、令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の制度が施行されることとなった。静岡県では、令和5年度までに市町事業(個別的支援及び通いの場への関与等)に協力可能な医療専門職を要請することとなり、管理栄養士については令和2年度中に養成事業を行い、さらに市町事業に協力可能な専門職の名簿を作成した。

①管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修の実施

市町が実施する介護予防事業において、高齢者の自立支援に向けた指導助言ができる管理栄養士・歯科衛生士の指導者を育成した。

予め講師による講義を撮影した上で、Web配信を行い、受講者が視聴する形態(オンデマンド)で実施。

受講後、レポートの提出をもって修了とした。

研修期間: 10月1日～10月31日

修了者数: 管理栄養士・栄養士 164名、歯科衛生士 279名

②管理栄養士を市町等に紹介する仕組みづくり

市町が実施する介護予防事業において、管理栄養士が通いの場等に関与できるよう、市町等からの依頼を受け、管理栄養士を紹介する仕組みづくりを行った。

・管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修の修了者について、市町等が実施する介護予防事業に協力可能な管理栄養士の名簿を作成した。

・市町等からの依頼を受け、管理栄養士を紹介する仕組みを検討し、通いの場に管理栄養士を紹介した。(10回)

開催日	市町	内 容	講師	参加人数
1月27日	西伊豆町健康福祉課	行動変容の動機付け、具体的に取り組みやすい内容紹介等	伊東澄子	20
1月22日	長泉町長寿介護課	長泉パンフレット内の6ページの「元気を保つ食事のとり方」のタンパク質を多く含む食材や、主食・主菜・副菜になる食材をイラストを用いて説明	石井浩子	7
2月16日	牧之原市健康推進課	1日の食品の目安量と食事例、1日に必要なたんぱく質の目安、指輪っかテスト	熊切 馨	15

開催日	市町	内 容	講師	参加人数
3月9日	牧之原市健康推進課	高齢期と低栄養の関係、指輪っかテスト、フレイル予防の食事について	熊切 馨	9
3月17日	牧之原市健康推進課	高齢期と低栄養の関係、指輪っかテスト、口腔チェック、健康体操	杉本富士子	16
3月12日	藤枝市健康推進課	食べ物とからだで健康を維持するための「食べ方」と「すごしかた」のポイントについて、食事バランスガイド	杉本富士子	22
2月25日	袋井市健康づくり課	フレイル予防（リハビリと栄養の講習会）、会話形式で実施	石神節子	8
3月3日	袋井市健康づくり課	低栄養予防講話と個別相談をアンケート形式で対応、血圧が高い方が多いため、ふじのくにお塩のとりかたチェックを実施	関 明子	6
2月24日	函南町福祉課	認知症独居の高齢者5人に栄養相談をし、低栄養の予防や、食事の組み合わせ方や食事量など相談	池谷広美	9
3月8日	掛川市長寿推進課	高齢者の1日 に必要な摂取量、運動と栄養の関係性についてやタンパク質の摂取タイミング等	石神節子	14

（５）食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対して、不適正表示を未然に防止するための講習会を開催した。

一般県民に向けては、普及啓発用リーフレットを10,000部作成した。

2019年度から原料原産地表示制度に関する講習会を加えて開催、県の依頼で、講師は消費者庁職員が担当した。

食品表示制度講習会へ参加の食品加工業者には資料を配布した。

県内3カ所で講習会を開催した。

開催日	会 場	内 容	講師等	参加人数
11月17日	掛川市生涯学習センター	食品表示講習会 ・新しい原料原産地表示制度について ・栄養成分表示の表示方法について ・食品表示制度について	【講師】 関東農政局静岡県拠点 河本正巳氏 静岡県栄養士会 池谷広美氏 静岡県衛生課 齋藤朋子氏 【助手及び受付事務】理事 袴田裕子	55
11月13日	プラサヴェルデ		【講師】 関東農政局 齋藤光弘氏 静岡県栄養士会 池谷広美氏 静岡県衛生課 齋藤朋子氏 【助手及び受付事務】石井浩子	70
11月25日	焼津文化会館		【講師】 静岡県衛生課 齋藤朋子氏 静岡県栄養士会 池谷広美氏 静岡県衛生課 齋藤朋子氏 杉浦大基氏 【助手及び受付事務】理事 森平教子	55

（６）食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

市民に向けて地場産の食材の紹介や意義について周知し、理解を深めることとする。

①富士宮市の食文化の啓発を推進するため、ランチセミナー開催

②食のまち富士宮の地場産品を活用したレシピを募集し、それを広く周知した。

①「健康な食事」について考えるランチセミナー

※1月19日に開催が予定された「健康な食事」について考えるランチセミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料配布とした。

②「富士宮市の学校給食用牛乳を活用した料理レシピ作成事業」

募 集 期 間： 令和2年8月20日から令和2年9月末までの間

応募レシピ数： 主菜11品 副菜11品

選定レシピ数： 主菜11品 副菜11品

実施時期	会 場	内 容	担当栄養士	参加予定者数
1月19日	きらら駅前交流センター集会室	＜健康を考えるランチセミナー＞1回 「健康な食事」に関する講演の資料を参加者に配布	若林恭子・田山恵子・中野英美	18名

(7) 飲食店向け「健康な食事」推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会 場	内 容	講師等	参加人数
10月20日	島田支部(中部)	①講話 「健康な食事」について考える ②事例紹介 「飲食店における「健康な食事」 取組事例の紹介」	【講師】 ①中部大学客員教授 近藤今子氏 ②食の学び舎くみ代表 中野ヤスコ氏 【助手及び受付事務】 理事 若林恭子 池谷広美 森平教子 袴田裕子	12
11月24日	沼津支部(東部)		【講師】 ①中部大学客員教授 近藤今子氏 ②食の学び舎くみ代表 中野ヤスコ氏 【助手及び受付事務】 理事 若林恭子 池谷広美 勝又香子 高木美穂	14

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会 場	内 容	講師等	参加人数
9月19日	静岡県男女共同参画 センター あざれあ	「高校生対象「健康な食事」について考える講座」講師養成研修会 基調講演 「健康な食事」を考える 事業内容説明 報告書、講座資料の説明 等	中部大学客員教授 近藤今子 氏 地域事業部理事 池谷広美	22
開催日	会 場	内 容	担当栄養士	参加人数
11月10日	静岡県立田方農業高等学校	高校生を対象とした講習会	池谷広美、石井浩子、勝又香子	23
11月16日	静岡県立田方農業高等学校		石井浩子、池谷広美、勝又香子	24
10月29日	静岡県立富岳館高等学校		若林恭子、中野英美	14
10月30日	静岡県立富岳館高等学校		若林恭子、中野英美	14
12月11日	静岡県立御殿場高等学校		石井浩子、勝又香子	16
11月25日	静岡県立中央高等学校		河村美樹、吉田卓矢、青島千恵	18
12月16日	静岡県立中央高等学校		吉田卓矢、小林美佐枝、河村美樹	18
10月27日	静岡県立磐田農業高等学校		安田純世、野中千ひろ、袴田裕子	20
10月28日	静岡県立磐田農業高等学校		野中千ひろ、澤田幹代、金子治美	18
12月8日	静岡県立浜名高等学校		澤田幹代、大石陽子	15
6~2月	県立高等学校元気を 見つめる外食活用講 座	「健康な食事」を考える管理栄養士・栄養士のす ずめる料理の冊子を高校の講座に活用し、主食+ 主菜+副菜のバランスの良い食生活についての普 及啓発活動を実施した。	配布会場 6 箇所	配付数 575冊
	県立高等学校講座 ・健康まつり等	「健康な食事」を考える管理栄養士・栄養士がす ずめる料理の冊子を高校の講座に活用し、その 他、会員の協力を得て一般消費者への普及にも努 めた。	配布会場 6 4 箇所	配付数 2002冊

(9) 食べるから繋がる地域包括ケア推進業務【静岡県健康増進課委託事業】

「『食べる』から繋がる食支援ガイド」を使用し、在宅高齢者の介護に関わる専門職が高齢者の食生活の現状や低栄養予防・改善の必要性と方法及び関係者間の情報共有方法等を理解し、関係職種との連携を進める。

対象者：地域包括支援センター職員、介護支援専門員をはじめ、医療介護関係者

①研修会の開催

在宅高齢者の介護に関わる専門職を対象とし、在宅高齢者の低栄養の予防・改善の必要性、低栄養の兆候の見つけ方、専門職との連携方法等、低栄養予防に関する連携事例・先進事例について、予め講師による講義を撮影した上で、Web配信を行い、受講者が視聴する形態（オンデマンド）で実施。

研修期間：11月2日～11月30日

受講者数：295名

②他団体等が主催する研修会への講師の派遣

他団体（市町、健康福祉センターを含む）主催の研修会において、低栄養の予防・改善の必要性、低栄養の兆候の見つけ方、専門職との連携方法等について講話（30分～1時間程度）を行った。（7回）

開催日	会 場	内 容	担当栄養士	対象者(参加者)	参加人数
2月19日	熱川温泉病院(WEB)	在宅高齢者の低栄養の予防・改善の必要性、低栄養の兆候の見つけ方等、低栄養予防に関する連携※資料として「『食べる』からつながる食支援ガイド」を活用する。	池谷広美	看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、リハビリアシスタント	33
2月24日	伊豆高原十字の園(WEB)		若林恭子	看護師、健康運動指導士、生活支援コーディネーター、介護支援専門員	10
11月11日	裾野市生涯学習センター		佐々木和子	介護支援専門員、介護施設職員、地域包括支援センター職員	55
1月28日	静岡県立富士見学園		杉山智子	施設長、サービス管理者、社会福祉士、福祉支援員、看護師、薬剤師、管理栄養士	14
3月6日	訪問看護ステーション・スポット(WEB)		森平教子	看護師	35
9月23日	湖西市地域包括支援センター		山瀬寿子	介護支援専門員、地域包括支援センター職員	32

※ 今年度は新型コロナ感染拡大防止の為、各健康福祉センター管内での多職種においての集合型研修会の開催が難しかったため、web研修会にも対応することとした。また御殿場健康福祉センター管内で在宅高齢者にかかわる専門職種が主催する研修会で高齢者の低栄養からのフレイル状態を予防・改善できる環境づくりを目指し、連携をすすめるため、「食べるから繋がる食支援ガイド」を活用した講話を行いたい趣旨を説明した。

(10) 栄養ケア・ステーション推進事業

登録者数	管理栄養士 223名 ・ 栄養士 21名	計 244名
------	----------------------	--------

①静岡市静岡医師会との定例会議

第1回	開催日：7月7日 会場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会（坪井会長・新井副会長・久保田理事・森田久美子会員・事務局鈴木） 静岡医師会（福地会長・鈴木副会長・吹田副会長・岡本副会長・飯山理事・水野理事・八木理事・依藤理事・事務局鈴木氏・小林氏） 内 容：診療報酬改定について、合同研修会について（テーマ及び講師等）
第2回	開催日：1月12日 会場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会（坪井会長・久保田理事・森田久美子会員・事務局鈴木） 静岡医師会（福地会長・鈴木副会長・吹田副会長・岡本副会長・飯山理事・水野理事・八木理事・依藤理事・事務局鈴木氏・小林氏） 内 容：合同研修会の報告と今後について コロナ禍における各診療所の状況
「静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会」 開催日：10月13日 会場：静岡市静岡医師会館 参加者：医師会関係17名、栄養士会会員24名 計41名 内 容：演題「栄養士会が取り組んでいる栄養ケア・ステーションの現状と今後」 講師 静岡県栄養士会理事 医療事業部長 久保田美保子 演題「妊婦の栄養管理の視点から児の長期的な健康を考える」 講師 浜松医科大学 産婦人科学講座主任教授 伊東宏晃 氏	

②受託事業

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
特定保健指導	10	130	130	(株)ホームナース	トヨタ販売連合健康保険組合 スズケン健康保険組合 倉敷紡績健康保険組合 福山通運健康保険組合 面談・電話支援 (118人)
	1	42	42	特種東海健康保険組合	島田工場 初回・電話支援・中間面談・最終面談 (22人)
	5	5	6	横浜リーフみなとみらい健診クリニック	伊豆漁業協同組合安良里支所 戸田漁業協同組合 内浦漁業協同組合 静浦漁業協同組合 面談 (67人)
	8	49	49	(株)医療情報システム	野村証券(株)沼津支店 野村証券(株)静岡支店 野村証券(株)甲府支店 (株)サニーメイズ 福徳長酒類(株)韮崎工場 面談・電話支援 (26人)
小計	24	226	227		
病態栄養食事指導	8	8	8	ホトニクス・グループ健保	病態栄養食事指導 (個別) (15人)
小計	8	8	8		
介護予防支援	4	4	4	浜松市高齢者福祉課	浜松市栄養改善普及啓発事業 (76人)
	2	3	3	(株)ホームナース	前期高齢者訪問相談事業 (2人)
	1	2	2	沼津市長寿福祉課	フレイル予防講座 (35人)
	1	6	6	磐田市高齢者支援課	短期集中予防訪問型サービスC (2人)
	1	1	1	静岡県医師会	地域リハビリテーションサポート医養成研修 (137人)
	1	3	3	下田市役所市民保健課健康づくり係	保健事業と介護予防の一体的実施 (65人)
	1	1	1	沼津リハビリテーション病院	静岡県地域リハビリテーション強化推進事業小研修会 (20人)
	1	1	1	静岡県中部健康福祉センター	他職種向け「地域高齢者の食支援講座」 (31人)
	1	1	1	静岡市地域包括ケア推進本部	静岡市フレイル予防市民講演会 (26人)
小計	13	22	22		
食育支援	20	20	20	静岡市子ども未来課	あそび・子育ておしゃべりサロン事業 (197人)
	1	2	2	富士健康福祉センター	食育指導者研修会 (48人)
	1	1	1	静岡県牛乳普及協会	コンクール書類審査 (282人)
	1	2	4	静岡県牛乳普及協会	骨密度測定会後の栄養相談 (301人)
小計	23	25	27		
食と健康支援	1	1	1	静岡県生活衛生営業指導センター	調理師養成施設の学生向け講演講師 (44人)
	1	6	6	ホトニクス・グループ健保	ホームページ掲載レシピ作成
	3	16	16	日本盲導犬協会富士ハーネス	施設利用訓練者の食事調理・提供 (11人)
	1	12	12	全国健康保険協会静岡支部	広報誌掲載記事作成
	1	2	2	明光会	知的障害者居宅介護職員初任者研修講師 (11人)
	1	4	4	日本栄養士会 JDA-DAT	赤ちゃん防災プロジェクト乳児用液体ミルクレシピ提案
小計	8	41	41		
栄養成分表示	0	0	0		
小計	0	0	0		
合計	76	322	325		
その他	取材：静岡朝日テレビ1件、静岡第一テレビ1件				

③支部報告（2018年10月 地域包括ケアについて設立）

支部名	相談件数	依頼件数	紹介者数
東部支部	3 件	3 件	4 人
中部支部(地域ケア会議)	5 件	5 件	5 人
西部支部	4 件	4 件	4 人

④認定栄養ケア・ステーション登録数

東部	中部	西部
1 カ所	1 カ所	1 カ所

⑤職業紹介事業

求人数（本年度新規）	28 件
求職者数（本年度新規）	3 名
職業紹介者数	6 名
雇用契約成立数	2 件

(11) 広報事業

開催日	内容（広報部）	回数等	内容（情報管理）	回数等
2020年 4月～ 2021年 3月	広報部会	1 回	受信メール処理件数	8,136 件
	メール部会	0 回	送信メール処理件数	4,927 件
	ホームページ更新	随時	研修会、交流会等のWEB受付数	16件 739名
	メールマガジン配信	5 回		
	ホームページアクセス数	16,000件	メールマガジン登録者数	864 名

Ⅱ 公2 県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 定時総会講演会

予定した「食事摂取基準研修会」は、感染症予防のため3月に開催延期しました。

(2) 栄養士交流会

開催日	会 場	目 的	内 容	参加人数
1月16日	【東部ブロック】 オンライン(WEB)及び サテライト会場 EAST DOCK2F (稲 取)、下田市役所別 館1F、男女共同参画 センター(富士宮)	①非会員にも参加を呼び掛け、静岡県栄養士会がどのような活動をしているか、パワーポイントの資料等により周知し、理解を深める。 ②管理栄養士・栄養士の資質の向上に向けた研修会申込方法などを理解する。	オンライン栄養士座談会と称し、学校、保育園(こども園)、地域活動、医療、行政、研究教育の各代表者よりコロナ禍での活動報告を行った。Zoomに慣れるためのミニレッスンも行った	33
11月7日	【西部ブロック】 浜松市福祉交流 センター	③同じ分野及び年代を超えて活動する仲間づくり、情報共有をする。	西部ブロック研修会終了後に、栄養士会の今後の活動・栄養士会のコロナ対応・各職域のコロナ対応について情報交換を行った。	20

(3) 静岡県栄養士大会学術研究会・交流会

第6回静岡県栄養士大会 学術研究会発表者

開催日	会 場	発表内容	発表者【所属事業部】	参加人数
2月23日	静岡県男女 共同参画セ ンターあざ れあ、 オンライン (WEB)開催	①当院の拒食・偏食児への対策 -食べないに対応する-	小林あゆみ【医療】	108名 会場26 オンライン82
		②「認定栄養ケア・ステーションくるみ」の開設と活動報告	中野恭子【地域活動】	
		③メイプル薬局認定栄養ケア・ステーションの活動と調剤薬局としての取り組み	佐野文美【医療】	
		④おいしいとは何か? 4	田森稔浩【福祉】	
		⑤胃癌術後患者に対する外来栄養指導について	松下亜沙実【医療】	
		⑥学校給食には、牛乳とお茶、どっちがBEST?	天野利紗 【学校健康教育】	
		⑦産前産後の食管理に関する他職種との取り組み	前田節子【研究教育】	
		⑧精神科訪問看護と栄養指導の連携について	高木圭子【医療】	
		⑨薬局管理栄養士による栄養サポート事例 -糖尿病薬に頼らないための食事・生活習慣指導-	佐藤文佳【医療】	
		⑩自転車競技選手の栄養サポート	河村美樹【地域活動】	
		⑪大学男子運動選手の運動直後の補食摂取が身体組成等に与える影響について	小山ゆう【研究教育】	
		⑫野菜充足度調査	勝又久美 【勤労者支援】	
		⑬高齢者の低栄養予防に向けた食支援の取組	仲田早織【公衆衛生】	

(4) 生涯教育基本研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
3月7日	オンライン (WEB)	日本人の食事摂取基準2020年版の各論のポイントと活用について	女子栄養大学 教授 栄養生理学研究室 上西 一弘 先生	130

(5) 生涯教育実務研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
9月5日	静岡県男女共同参画センター あざれあ、オンライン (WEB)	食物アレルギーの食事と管理	昭和大学医学部小児科学講座 小児アレルギーエデュケーター 管理栄養士 長谷川実穂 先生	78
1月23日	オンライン (WEB)	腸内細菌叢と脳腸相関～コロナ禍において免疫機能を見直そう～	東京女子医科大学 教授 小児科学講座主任 永田 智 先生	85
2月6日	静岡県男女共同参画センター あざれあ、オンライン (WEB)	食環境整備におけるナッジの活用	女子栄養大学 栄養学部 准教授 食生態学研究室 林 芙美 先生	80

(6) 福祉寺子屋

開催日	会 場	内 容	担当者	参加人数
1月20日	オンライン (WEB)	寺子屋①コロナ禍の施設運営危機管理	福祉事業部 理事・運営委員	4
2月7日	オンライン (WEB)	寺子屋②食事形態あれこれ		12
3月6日	オンライン (WEB)	寺子屋③児童施設で働く栄養士集まれ		4
11月14日	オンライン (WEB)	寺子屋④コロナ禍における業務の進め方		5

(7) 地区別健康づくり推進研修会

①地区代表者会議： 参加者 (各地区代表者、正副会長、地区事業部理事、研修部理事)

開催日	議 事 内 容
7月19日	①2019年度地区別健康づくり研修会報告について 各地区の研修会等の報告 ②地区別健康づくり研修会 2020年度の事業計画について 各地区の研修会等の予定 ③事業報告書類及び会計報告について 出席人数 15 (うちWEB出席 3名)

②ブロック研修会

地 区	開催日 ・ 会場	内 容	講 師	参加人数
東 ブロック	1月16日 オンライン (WEB) 及び サテライト会場 EAST DOCK2F (稲 取)、下田市役所別 館1F、男女共同参画 センター (富士宮)	オンライン栄養士座談会 コロナ禍での栄養士活動・現状を知ろ う！ ～WEBコミュニケーションツールを使っ てみよう	報告者 富士市藤川学校給食センター 認定こども園 みのる幼稚園 地域活動 医療 伊東市民病院 行政 富士市地域保健課 研究教育 小林恭子氏 小川知子氏 山下祐美氏 杉本尚子氏 芹澤唯奈氏 白石明子氏	33名 (内サテライト 会場7名)
西部 ブロック	11月7日 浜松市福祉交流センター	スポーツ栄養学を取り入れた中高 生の食育	山梨学院大学 食物栄養学科 専任講師 鈴木睦代先生	20

③各地区の研修会

地 区	開催日 ・ 会場	内 容	講 師	参加人数
東伊豆・賀茂	※感染症予防のため開催中止			
田方	※感染症予防のため開催中止			
東部	※感染症予防のため開催中止			
富士・富士宮	11月7日 富士宮市総合福祉会館	介護予防で期待される栄養士と歯科衛生士の連携 <交流会>自己紹介、研修会の感想、業務で困っていること 等	歯科衛生士 橋本真佐子氏	22
清庵	10月3日 清水岡生涯学習交流館	糖尿病診療ガイドライン2019改定のポイントおよびサルコペニア予防	静岡県立大学食品栄養科学部 教授 新井英一 氏	13
中部	※感染症予防のため開催中止			
志太・榛原	1月28日 オンライン（WEB）	減塩への取り組み	藤枝市立総合病院 石神直之 氏	24
中東遠	※感染症予防のため開催中止			
西部	3月19日 浜松市福祉交流センター	糖尿病性腎症予防プログラムにおける管理栄養士の役割	浜松市健康福祉部 国保年金課技監 保健グループ長 竹村 和枝氏	8

④地域住民への健康づくり啓発活動

地 区	開催日・会場	内 容	従事者数
東伊豆・賀茂	7月3日・伊東市役所	「リハビリ専門職が教える！自宅でできる運動のすすめ」ケーブルテレビ番組撮影① 伊東市高齢者福祉課主催 リハビリ専門職による運動番組（伊東市内および熱海～下田のCATV）のなかで、脱水予防をテーマとして「栄養・水分は足りていますか？」という栄養講座を撮影した。週1日同じ内容数回繰り返し放送中。	5
	8月7日・伊東市役所	「リハビリ専門職が教える！自宅でできる運動のすすめ」ケーブルテレビ番組撮影② 伊東市高齢者福祉課主催 リハビリ専門職による運動番組（伊東市内および熱海～下田のCATV）のなかで、リハビリテーション栄養をテーマとして「運動と栄養で筋肉維持！」という栄養講座を撮影した。週1日同じ内容数回繰り返し放送中。	3

（8）災害時栄養支援事業

静岡県栄養士会は、平成25年5月10日 災害対策基本法第2条第6号に基づく「指定地方公共機関」の指定を受け、災害支援体制の整備構築を図っている。

会議開催状況	※感染症予防のため開催中止	内 容	
静栄DATスタッフ登録	運営委員、DATリーダー、DATスタッフ 156名（2021年3月31日現在）		
研修会への受講勧奨	第10回JDA-DATリーダー育成研修会	3月13日～14日 オンライン（WEB）	静栄派遣 稲葉由美 小野田美津子 中村朱美 杉山貴紀 リーダー登録者数 23名 (2021年3月31日現在)
	第5回JDA-DATリーダースキルアップ研修会		

災害時栄養支援研修会

予定した「災害時栄養支援研修会」は、感染症予防のため開催中止しました。

2 収益事業

収 1 販売等の収益事業

特定保健指導用資料を販売した。

・目標シール等

3 会の運営に関する事項

(1) 定時総会開催

開催日	会 場	出席会員数	議案事項
6月6日	静岡県男女共同参画センターあざれあ および オンライン(WEB)	過半数を超えているので成立 出席者 25名 WEB出席者 8名 書面による表決 778名 計 810名 (正会員総数 1,411名)	2019年度事業報告承認の件 2019年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書) 及び財産目録承認の件 役員選任の件 日本栄養士会代議員承認の件 報告事項 2020年度執行計画について

(2) 理事会開催状況

開催日	会 場	出席人数	議事内容
第1回 4月18日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	19	2019年度事業報告及び決算の承認について 2020年度定時総会の運営について 生涯教育研修計画について 広報部 メルマガ配信再構築について 表彰候補者の推薦について 他
第2回 6月6日	静岡県男女共同参画センターあざれあ およびオンライン(WEB)	23	代表理事の選任について 理事の役割分担について 県知事表彰候補者の推薦について 各専門事業部長および委員について 名簿の作成について 他
第3回 7月19日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	22	研修部 20120年度事業について 広報部 研修会案内をホームページにアップする手順について 今年度の静栄DAT研修について 理事会での旅費・日当の支払いについて 他
第4回 9月26日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	19	2021年度予算編成について 2020年度後期、2021年度研修会計画について 第6回静岡県栄養士大会について 福祉寺子屋について WEB会議での日当の扱いについて 他
第5回 12月13日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	21	会員名簿発刊(廃止)について 2021年度事業計画、予算編成について 2020年度研修会、2021年度研修会運営、WEB研修会の課題と対策について 栄養ケア・ステーション部の予算、支部の役割分担について 広報部 おすすめメニューのテーマの見直しについて 第6回栄養士大会について 他
第6回 1月31日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	21	2021年度予算編成について WEB研修会について、2021年度総会について 広報部 静栄ホームページ賛助会員広告募集の件 第6回静岡県栄養士大会について 在宅介護者食生活支援リーフレットについて 他
第7回 3月14日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	21	2021年度事業計画及び予算案の承認について 2021年度定時総会・講演会について 研修部 2021年度生涯教育基本及び実務研修について 福祉事業部 介護報酬改定研修会について 地区事業部 2021年度の地区代表者会議の開催等について 他

(3) 年間活動報告

①公益社団法人日本栄養士会定時総会

2020年6月21日【オンライン(WEB)】

出席代議員：坪井 厚

②公益社団法人日本栄養士会 諮問会議

第1回：2019年5月16日【オンライン(WEB)】

出席者：坪井 厚

第2回：2020年2月14日【オンライン(WEB)】

出席者：坪井 厚

③東海北陸地区会長等合同会議

2020年8月29日～30日【オンライン(WEB)】(主催：岐阜県)

出席者：坪井 厚、木下初代、新井英一、宇津木志のぶ、大石景子、鈴木真理子

④公益社団法人日本栄養士会職域事業部全国代表者会議・研修会などへの派遣

職域名	開催日	開催地	名 称	氏 名	
医 療	5月23日	WEB	病院医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	久保田美保子	
	8月29日	WEB	上半期東海北陸地区リーダー研修会	久保田美保子	
	2月6日	WEB	下半期東海北陸地区リーダー研修会	久保田美保子	
学校健康教育	8月9日	WEB	東海北陸地区学校健康教育VSC	戸田知里	
	2月7日	WEB	学校健康教育事業部全国リーダー研修会	戸田知里	
勤労者支援	12月13日	WEB	勤労者支援事業部全国リーダー研修会	森下知代	
研究教育	2月21日	WEB	全国リーダー研修会	篠原啓子	
公衆衛生	2月21日	WEB	公衆衛生実務研修会・オンライン	宇津木志のぶ	名波浩美
地域活動	6月13日	WEB	東海北陸地区ブロック会議	若林恭子	
	11月7日	WEB	東海北陸地区ブロック会議	若林恭子	
	1月30日	WEB	地域活動事業部全国リーダー研修会	若林恭子	池谷広美
福 祉	2月28日	WEB	福祉事業部全国リーダー研修会	鈴木寿乃	
				田森稔浩	

⑤他団体との連携(会長・及び副会長・事務局長出席)

内 容	参加者	開 催 日			
ふじのくに健康増進計画推進協議会	会長	1/29			
ふじのくに健康増進計画「食育部会」会議	会長	11/13			
ふじのくに健康増進計画「歯科保健部会」会議	会長	10/21			
静岡県地域包括ケア推進ネットワーク会議	会長	9/1	12/22	3/16	
静岡県特定検診・特定保健指導推進協議会	会長	11/12			
静岡市給食センター運営会議	会長	11/30	3/11		
静岡市食育推進会議	会長	11/19	3/11		
静岡県歯科医師会糖尿病歯周病医療連携委員会	会長	11/12	2/4		
静岡県8020推進大会、住民会議	会長	7/30	11/18	1/19	2/21
静岡県牛乳普及協会 料理コンクール審査、他	会長	9/18	10/4		
静岡県母性衛生学会役員会	会長	3/20			
障害を理由とする差別解消推進県民会議	会長	11/19			
静岡市静岡医師会定期会議、合同勉強会 他	会長、副会長	7/7	10/13	1/12	
健康はままつ21推進会議	副会長	2/17			
静岡県男女共同参画推進会議及び講演会等	事務局長	9/10	2/24	3/5	3/12

⑥表彰に関する事項

表彰日	項 目	内 容	受賞者(敬称略)
6月6日	静岡県栄養士会	栄養指導業務功労者	石原詠子 他 25名
	静岡県知事	保健衛生功労・栄養指導業務功労者	増田きみ代 大石良子
	厚生労働大臣	栄養改善事業功労者	渡邊美子
		栄養指導業務功労者	繁田英彦 古橋啓子
10月18日 (決定)	日本栄養士会	会長表彰(25年業務貢献者)	石原詠子 他 14名
		会長表彰(役員歴6年以上)	池谷広美
11月4日	内閣府	旭日双光章	坪井 厚
	日本公衆衛生協会	公衆衛生事業功労者	川口富士子

(4) 会員の状況 (2021年3月31日現在)

①名誉会員 1名

名誉会員で第2代会長の岡村水香（おかむらみさか）様は2020年10月に満101歳でご逝去されました。

②正会員（会費納入人数）

継続会員	1259名
新入会員	113名
計	1372名

職域事業部別会員数（※名誉会員は含まない）

医療	学校健康教育	勤労者支援	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
530名	93名	44名	50名	112名	225名	318名	1372名

◎会員増に向けての取り組み状況

i 「メールマガジン会員制度」（平成18年度から実施）

（再掲）メールマガジン登録者 864名（2020年度末）

ii 「お友達紹介制度」（平成25年度から実施）

2020年度 制度利用の入会者 9名

iii 「栄養士交流会」の開催

非会員にも参加を呼び掛け、県内東部及び西部地区で「交流会」を開催し、栄養士会の運営及び事業等について理解を深めてもらい、入会を勧めた。

また、情報交換など交流を図り、仲間づくりの応援をした。

中部地区は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催中止となった。

③賛助会員 59社

第2号議案

法人名：公益社団法人 静岡県栄養士会

貸借対照表

2021年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,962,088	19,738,112	△ 1,776,024
未収金	3,580,000	2,340,000	1,240,000
貯蔵品	5,522	5,705	△ 183
前払金	117,220	118,590	△ 1,370
仮払金	20,620	22,080	△ 1,460
流動資産合計	21,685,450	22,224,487	△ 539,037
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
災害支援積立預金	250,045	200,029	50,016
記念事業積立預金	150,021	150,008	13
特定資産合計	400,066	350,037	50,029
(3) その他固定資産			
什器備品	1	3	△ 2
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	306,000	306,000	0
その他固定資産合計	378,801	378,803	△ 2
固定資産合計	778,867	728,840	50,027
資産合計	22,464,317	22,953,327	△ 489,010
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	7,083,150	7,552,500	△ 469,350
預り金	3,592,700	6,077,300	△ 2,484,600
流動負債合計	10,675,850	13,629,800	△ 2,953,950
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	10,675,850	13,629,800	△ 2,953,950
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	11,788,467	9,323,527	2,464,940
(うち特定資産への充当額)	(400,066)	(350,037)	(50,029)
正味財産合計	11,788,467	9,323,527	2,464,940
負債及び正味財産合計	22,464,317	22,953,327	△ 489,010

正味財産増減計算書

2020年 4月 1日 から 2021年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	29	535	△ 506
受取入会金			
受取入会金	113,000	124,000	△ 11,000
受取会費			
正会員受取会費	13,034,000	13,395,000	△ 361,000
賛助会員受取会費	1,770,000	1,875,000	△ 105,000
受取会費計	14,804,000	15,270,000	△ 466,000
事業収益			
公1	7,813,294	10,007,652	△ 2,194,358
公2	392,000	451,600	△ 59,600
収 1	0	0	0
事業収益計	8,205,294	10,459,252	△ 2,253,958
雑収益			
受取利息	952	939	13
雑収益	604,220	710,230	△ 106,010
雑収益計	605,172	711,169	△ 105,997
経常収益計	23,727,495	26,564,956	△ 2,837,461
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,538,783	5,637,604	△ 1,098,821
福利厚生費	557,009	1,092,242	△ 535,233
旅費交通費	1,367,588	2,695,539	△ 1,327,951
通信運搬費	1,031,847	998,158	33,689
消耗品費	1,162,206	1,108,617	53,589
修繕費	61,243	63,392	△ 2,149
印刷製本費	502,380	209,748	292,632
光熱水料費	55,618	62,029	△ 6,411
賃借料	448,587	508,869	△ 60,282
保険料	73,288	77,507	△ 4,219
諸謝金	4,102,464	7,062,418	△ 2,959,954
租税公課	526,900	519,189	7,711
支払負担金	48,920	0	48,920
地代家賃	959,217	999,329	△ 40,112
委託費	771,955	485,327	286,628
渉外費	69,948	89,134	△ 19,186
会議費	1,600	114,081	△ 112,481
雑費	31,626	56,301	△ 24,675
事業費計	16,311,179	21,779,484	△ 5,468,305

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	2,476,337	1,171,096	1,305,241
福利厚生費	303,903	226,891	77,012
会議費	67,200	220,743	△ 153,543
渉外費	3,902	39,336	△ 35,434
旅費交通費	184,079	286,152	△ 102,073
通信運搬費	153,609	313,870	△ 160,261
消耗品費	67,117	128,582	△ 61,465
修繕費	37,857	34,132	3,725
印刷製本費	0	2,118	△ 2,118
光熱水料費	34,377	33,398	979
賃借料	212,876	210,887	1,989
保険料	45,302	41,731	3,571
諸謝金	17,739	126,202	△ 108,463
租税公課	28,200	71,711	△ 43,511
地代家賃	592,911	538,099	54,812
委託費	718,523	813,200	△ 94,677
雑費	7,442	6,777	665
管理費計	4,951,374	4,264,925	686,449
経常費用計	21,262,553	26,044,409	△ 4,781,856
評価損益等調整前当期経常増減額	2,464,942	520,547	1,944,395
当期経常増減額	2,464,942	520,547	1,944,395
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
什器備品除却損	2	0	2
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	△ 2	0	△ 2
税引前当期一般正味財産増減額	2,464,940	520,547	1,944,393
当期一般正味財産増減額	2,464,940	520,547	1,944,393
一般正味財産期首残高	9,323,527	8,802,980	520,547
一般正味財産期末残高	11,788,467	9,323,527	2,464,940
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	11,788,467	9,323,527	2,464,940

財産目録

2021年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管		運転資金として	187,971
	普通預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.12300-15650791)		同上	6,218,281
		郵貯銀行/名古屋貯金事務センター (No.00870-9-57832)		同上	6,820,700
		静岡銀行/呉服町支店 (No.1285838)		同上	2,568,224
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-12)		同上	2,166,912
	定期預金	静岡県		令和2年度委託料	1,000,000
	未収金	食べるからつながる地域包括推進事業業務委託料			
		静岡県		令和2年度委託料	2,580,000
		介護予防推進指導者育成事業業務委託料			
	貯蔵品	手元保管		郵便切手	3,446
前払金	手元保管		収入印紙	1,400	
	手元保管		栄養ケア・ステーションツール	676	
	手元保管		令和3年度保険料	117,220	
	仮払金	手元保管		繰越納付済源泉所得税額	20,620
流動資産合計					21,685,450
(固定資産)					
特定資産					
その他固定資産	災害支援積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-17)		災害支援として使用	50,017
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-19)		同上	50,015
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-23)		同上	50,010
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-01)		同上	50,003
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-03)		同上	50,000
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-24)		記念事業として使用	100,018
	記念事業積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-02)		同上	50,003
	什器備品			プロジェクター	1
	電話加入権			#282-5507 他	72,800
敷金			事務所家賃敷金	306,000	
固定資産合計					778,867
資産合計					22,464,317
(流動負債)					
	前受金			令和3年度静栄会費他	7,083,150
	預り金			令和3年度日栄会費他	3,592,700
流動負債合計					10,675,850
固定負債合計					0
負債合計					10,675,850
正味財産					11,788,467

監 査 報 告 書

公益社団法人 静岡県栄養士会
会 長 坪 井 厚 様

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日迄）の事業報告及び
附属明細書、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録、附属明細書
を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

2021年4月15日

公益社団法人 静岡県栄養士会

監事 楠 木 幹 子 
監事 関 明 子 

2021 年度 公益社団法人静岡県栄養士会事業計画

I 基本方針

公益社団法人静岡県栄養士会は、すべての人々への正しい食生活の普及推進に努め、保健・医療・福祉・教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的根拠に基づく高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通し、県民の健康づくりや生活習慣病の予防、重病化予防、高齢者のフレイル予防に取り組めます。

今年度の事業内容の特徴

- ・少子高齢社会から生まれる国民への負担を、食と栄養の科学的知識の啓発をもって、多職種と連携し、社会貢献するための事業を実施します。
- ・重点項目実現のため、就労する管理栄養士・栄養士が皆会員となるよう、魅力的な事業を展開し、会員数増加による組織力強化を図ります。
- ・会員が習得した知識を、社会で十分に発揮できるような研修会や情報交換会を企画し、管理栄養士・栄養士が、より多くの国民・県民の支持を頂ける事業を推進します。
- ・当会ホームページや一般公開講座にて、国民・県民の健康寿命延伸のための情報提供事業を推進します。
- ・関連他職種との連携強化で、効率良い県民への地域包括食支援事業を展開します。
- ・自然災害での食支援体制の構築に向け、日栄D A T並びに県防災対策室との連携強化を図ると共に、会員の支援活動への理解を深める事業を実施します。
- ・以上のすべての事業に対し、新型コロナウイルス感染予防対策をとり実施します

II 重点項目

- 1 県民の健康保持増進を目的に、0 歳児から高齢者までライフステージに応じた栄養管理を支援します。また、その技術を習得するための講演会・研修会・勉強会を開催します。
- 2 栄養ケア・ステーションでは、安心して安全、且つ効率的に健康保持増進に役立つ食に関する知識を提供する管理栄養士・栄養士を紹介します。
 - ・健康保険組合の特定保健指導の推進に連携協力し、県民のメタボリックシンドローム（生活習慣病）の予防に努める管理栄養士の紹介を引き続き実施します。
 - ・県内各地区の医師会との契約締結を推進し、生活習慣病の重篤化予防のための栄養食事指導を行う管理栄養士を紹介します。
- 3 県・市町健康づくり担当課等と連携し、県民の健康保持増進と疾病予防等の政策に協力します。
- 4 傷病者の病気回復、合併症予防、社会復帰支援等の病態栄養食事指導を行います。そのための最新情報の習得、科学的根拠に基づく食支援等の技術向上研修会を開催します。医療費・介護費の支出をできる限り減額するための栄養管理と食支援を行います。
- 5 高齢者施設入所者の健康と身体機能の保持向上のため、高齢者個々人に合った栄養管理と食支援を

目指します。介護保険料の支出を最小限に抑えるよう栄養管理と食支援を行います。また、その技術向上のための研修会を開催します。

- 6 関連職能団体との連携を深め、県民の健康保持増進と傷病者への支援、生活習慣病予防、高齢者の栄養管理など、県民が生きがいをもって生活できる社会の実現に資するための公益的な事業を推進します。
- 7 在宅療養者・居宅要介護者に対し、地域包括支援センターを中心とする関連職種と連携を図り、栄養管理と食支援の推進に努力します。
- 8 国・県・市町に対し、本会の目的である県民の食を介しての健康保持増進と健康寿命の延伸に資するため、必要な政策等の要望を提言します。
- 9 静栄DAT（災害支援チーム）組織強化のための会員研修・DATリーダー・スタッフの育成を推進します。
- 10 これらの活動促進のために、保健・医療・福祉・教育関連の研究所・学会・職能団体、管理栄養士・栄養士養成施設などと連携・協働し、管理栄養士・栄養士個人では実現しにくいことを中心に、その活動を支援します。
- 11 次世代を担う幼児・学童・生徒・学生の食育と食物アレルギーの具体的対策を推進します。

Ⅲ公益目的事業

公1	科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通し、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業
----	--

(1) 健康栄養知識普及事業

内 容	県内各市町で実施する健康まつり等のイベントで行う栄養教育全般(展示、栄養相談、講話等)について、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣することにより、望ましい食生活の知識普及や情報提供を行い、「食を通して人を育む」県民運動の推進に協力する。				
実施時期・回数	4月～2月 ・13回	会場	各市町保健センター等	参加予定人数	20,000人

(2) 健康づくり啓発協力事業

内 容	各種公共団体が実施する県民を対象とした講座・セミナー等に、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣し、食育を中心に、健康や食品に関する体験学習活動を実施し、健康づくりのための啓発事業に協力する。				
実施時期・回数	7月～3月 ・5～6回	会場	ツインメッセ等	参加予定人数	3,000人

(3) 在宅介護者への食生活支援事業

内 容	超高齢社会において病院等の在院日数が短くなり、在宅療養が推進されている。そこで、心身等に障害のある在宅者や介護者のQOLの向上を目指し、管理栄養士・栄養士と関連専門職種との連携による、適切な栄養管理を支援するための研修会を開催する。				
実施時期・回数	11月 ・1回	会場	未定	受講予定人数	40人

(4) 管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成事業業務【静岡県健康福祉部健康増進課 委託事業】

内 容	令和元年5月「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」の改正が行われ、これまで医療保険と介護保険の連携がとれず、高齢者への保健事業の取り組みが薄かった部分を改善するため、令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の制度が施行されることとなった。静岡県では、令和6年度までに市町事業(個別の支援及び通いの場への関与等)に協力可能な医療専門職を要請することとなり、管理栄養士・栄養士については令和2年度に引き続き指導者育成事業を行い、市町事業に協力可能な管理栄養士登録者の更なる増員を進め、栄養ケア・ステーションを通し、市町高齢者の通いの場への紹介事業を推進する。				
実施時期・回数	未定	会場	未定	受講予定人数	未定

(5) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県健康福祉部生活衛生局衛生課 委託事業】

内 容	食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対して、不適正表示を未然に防止するための講習会を開催する。 事業実施は6年目となる。 ・原料原産地表示制度に関する講習会の実施 年3回(Web開催も含む) 対象者数:約210名(各会場70名を予定)				
-----	--	--	--	--	--

(6) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会 委託事業】

内 容	市民に向けて地場産の食材の紹介や意義について周知し、富士宮市の食文化についても理解を深める。				
実施時期	5月～2月	会場	未定	事業開催回数	未定

(7) 飲食店向け「健康な食事」推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	「健康な食事」の冊子を活用し、飲食店で活用できる野菜たっぷりメニューを提供する。メニューの料理は実際に作り、試食をすることによってわかりやすく実践を促すものとする。併せて「健康な食事」の組み合わせができるような内容とする。				
実施時期	未定	会場	東部・西部 各1回	受講予定人数	飲食店関係者 各15人

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	静岡県教育委員会と連携し、県内の高等学校の生徒を対象に、健康の保持・増進と生活習慣病予防のため、『健康な食事』について考える冊子を活用し、健康づくりに繋がるような講話と調理実習を行う。 また、一般県民を対象とした栄養相談等において『健康な食事』について考える冊子を活用し、県民の健康増進の啓発を図る。				
実施時期	5月～2月	会場	静岡県内高等学校 10回	受講予定人数	200人

(9) 食べるから繋がる地域包括ケア推進業務【静岡県健康福祉部健康増進課委託事業】

内 容	静岡県で作成された『食べる』から繋がる食支援ガイドを活用し、地域で高齢者を多職種で連携・協働して支えるために研修会を開催する。 対象者：地域包括支援センター職員、介護支援専門員をはじめ、医療介護関係者等				
実施時期	5月～2月	会場	未定	受講予定人数	未定

(10) 栄養ケア・ステーション推進事業

内 容	少子高齢化や疾病構造の変化が進むなかで、がん、循環器疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。 このため、「健康日本21(第二次)」に基づき、平成20年度から生活習慣病予防や保健指導等の実施に係る活動拠点として、先進的に事業を進めている。事務局にコーディネーターを配置し、行政、医療機関、福祉施設、民間企業等から仕事を請け負い、有料職業紹介事業所の資格も有し、登録会員に下記業務を提供している。 ①特定保健指導 ②病態栄養食事指導 ③介護支援栄養指導 ④栄養相談、栄養指導 ⑤食育支援栄養指導(食育体験学習指導を含む) ⑥栄養価計算・成分表示指導 ⑦食や栄養に関する情報提供、資料作成 今年度はケア・センター機能としての東部・中部・西部支部が連携し、各地域で活動する認定栄養ケア・ステーションと共に県民のニーズに応える活動を展開していく。ケア・センターでは特に改定が進んでいる診療報酬・介護報酬に関わる事業に積極的に対応していく。認定栄養ケア・ステーション事業所が当会と連携する場を開きサポート機能の充実を図る。認定を計画している新規事業主へのサポートも行い、県内各地での拡充を目指す。
-----	---

(11) 県民栄養調査に関する事業

内 容	県民の健康に関する様々な視点における栄養調査を実施し、結果をホームページ上に掲載する。 2021年度は、地域住民を対象とした栄養調査を実施する。
-----	---

(12) 広報事業

内 容	ホームページがリニューアルし、さまざまな情報を迅速に提供できる体制が整った。 今後は、ホームページ内容の充実、よりアクセスしやすい画面構成の構築を検討する。 また、今後はZoom等でのWeb研修が一般化していくことが予想される。Web研修の申し込みや使い方等もメールマガジンで情報提供できるよう努める。
-----	---

公2

県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 定時総会講演会

内 容	年1回の定時総会の基調講演を開催する。 国民の健康づくりの推進と資質向上、専門職としての自己実現、各職域の管理栄養士・栄養士が情報収集できる場を提供する。 文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会は2020年12月25日(金)に『日本食品標準成分表2020年版(八訂)』を公表。今回は「八訂」として5年ぶりとなる改訂が行われた。改訂のポイントは「調理済み食品の情報の充実」、「炭水化物の細分化とエネルギーの算出方法の変更」、「七訂追補(2016～2019)の検討結果の反映」の3点である。『日本食品標準成分表』の改訂や追補では、食生活の変化や利用する現場の需要に即した情報の更新が行われている。改訂の目的やその内容を理解し、管理栄養士・栄養士の業務に活用することが求められる。 講演内容:「日本食品標準成分表2020年版(八訂)についてー改定のポイントと活用方法ー」 講師:学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊智子先生				
実施時期・回数	6月13日	会場	オンライン・あざれあ	受講予定人数	170人

(2) 栄養士交流会

内 容	静岡県栄養士会の活動を知る。 資質の向上にむけた研修会申し込み方法などを理解。 同じ分野、年代を越えて活動する管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報共有。				
実施時期・回数	5月～12月・3回	会場	あざれあ等	受講予定人数	30人/回×3

(3) 静岡県栄養士大会(学術研究発表会及び交流会)

内 容	静岡県栄養士会独自の事業として、平成27年度より開催し、7回目となる。毎回種々な職場から100名を超える管理栄養士・栄養士が交流を図り、参加者からは良い刺激を受けたとの評価を得た。学会発表はハードルが高いと感じられる人には、本会からスタートし、自己研鑽を積み、質の高い管理栄養士・栄養士としてさらに飛躍するための場を提供する。 2021年度は更により多くの参加者を募るため、WEBでのLive配信を併用し、会員の取り組みや成果を共有することで、さらなる発展を目指す。				
実施時期・回数	2月	会場	中部地区	受講予定人数	130人(WEBおよび会場参加)

(4) 生涯教育基本研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持するための基本研修会を開催する。また、日本栄養士会 生涯教育基本研修<必須><必須以外>e-ラーニングについても情報発信し、受講推奨。管理栄養士・栄養士として国民のために役立てる能力を身に付ける 栄養ケアプロセス等(講義及び演習)				
実施時期・回数	4～3月	会場	オンライン・あざれあ等	受講予定人数	延べ 120人

(5) 生涯教育実務研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持、専門とする分野に特化される知識と技術を習得するための実務研修会を開催する。 8/24または9/4 「仮」栄養指導等に必要とされる対人スキルの向上」 一般社団法人アスルクラロススポーツクラブ 運営部長兼人材育成室長 芹沢 翼 先生 10～11月 「仮」腎臓病の食事療法について」 昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授 島居美幸先生 未定 「仮」病態栄養講座・栄養管理研修」				
実施時期 ・回数	6月～2月 ・4回	会場	オンライン・あざれあ等	受講予定人数	60～120人/回×4

(6) 福祉寺子屋

内 容	福祉事業部会員の抱えている問題は様々であり、大勢が不安を抱え業務を行っている現状がある。このため少しでも不安が解消できるように、2021年度は、ディスカッション方式で、業務上の悩み解決、管理栄養士・栄養士のコミュニティー形成につながる研修会を開催する。				
実施時期 ・回数	6月～11月 ・4回	会場	WEB・サンウェル沼津・あざれあ等	受講予定人数	20人/回×4

(7) 地区別健康づくり推進事業

内 容	県内を9地区にわけ、各地区において新型コロナ感染防止対策を講じながら小規模研修事業やイベントを企画運営し、地域に密着した県民の健康づくり支援を推進する。また、県内東部・中部・西部の3ブロックごとに研修会を開催し、会員の居住地の近いところで研修を受けることができるようにする。 これにより、会員相互の情報交換、仲間づくりの機会とし、会員の継続入会や新規会員の増加をめざす。 ①東・中・西ブロック研修を企画・運営(年3回) ②各地区小規模研修を開催 ③地区別イベントの開催 ④県内で行われる大規模イベント等への出展協力 ⑤代表者会議やブロック別運営会議の開催 ⑥市町や県との事業への積極的参加により、栄養士会の理解及び周知				
-----	--	--	--	--	--

(8) 災害時栄養支援事業

内 容	予想される南海トラフ巨大地震等災害発生時に備え、有事の際に直ちに県・市町に協力し活動できる組織(静栄DAT)の体制を強化するとともに、災害時における食支援に役立つ知識・技術の習得のための研修会を開催する。特に感染症への対応を考慮した支援及び平時の活動について検討するとともに、災害対策マニュアル及びアクションカードを完成させる。また、災害時には行政との連携が必須であるため、県の主催する防災訓練への参加をはじめ、平時からの連携強化に取り組む。 ①災害時栄養支援スタッフ育成及びスキルアップ研修会開催 ②静岡県栄養士会災害対策マニュアル及びアクションカードの作成 ③静栄DAT運営委員会開催 ④JDA-DATリーダー育成研修会・リーダースキルアップ研修会への受講勧奨 ⑤静岡県防災訓練への参加				
-----	--	--	--	--	--

IV収益事業

収1	販売等の事業
内 容	特定保健指導に使用するツール、書籍等の販売を行う。

V その他

(1) 事業部運営

① 職域事業部

職域事業部名	運 営 方 針
医 療	在宅と医療機関の切れ目のない療養が継続できる社会を実現するために、栄養管理においてもスムーズな連携を図る。そのため院内外・地域の関係機関などの多職種のカンファレンスに参加し情報を共有する。チーム内で専門性を発揮できるよう知識・技術のスキルアップを強化する。
学校健康教育	小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校において、学校給食の栄養管理と食に関する指導を通し、食育の普及を図るとともに、幼児、児童生徒を中心とした健康の増進および生活習慣病予防に寄与する。
勤労者支援	働く人々を健康にする社会の実現に貢献し、健康寿命の延伸を推進する。一次予防・0次予防を推進し、健康で働く人々を増やし、元気な日本にするための仕組みをそれぞれの立場で一緒に提案していく。
研 究 教 育	県内4つの養成校の連携をより密に図り、栄養士会に対する学術面のサポートおよび、栄養士会への学生の参加なども検討し、体制を整備する。
公 衆 衛 生	生涯を通じた健康づくり・栄養改善推進のため、専門知識の普及に努め、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献することを目指す。
地 域 活 動	県民の健康づくりを支援するため、県・市・町、関係団体からの委託事業を請け、「食育」「健康な食事のすすめ」「飲食店栄養成分表示」「地域包括ケア推進事業」など、地域活動事業部会員がその担い手となり県民の健康寿命の延伸に寄与する。 また、常に実践で活躍できる会員の育成を目指し、栄養ケア・ステーション登録者の人材育成とスキルアップ研修等を企画、実施していく。
福 祉	乳幼児から高齢者、障害者などを支える幅広い福祉現場の仲間との福祉寺子屋による情報交換、介護報酬の改定にともなう業務内容の変更に対応できるように情報提供および栄養ケアマネジメントの研修を行い、質の向上を図る。また、会員同士の「つながり」の構築を目指し、会員増に取り組む。

② 研修部 運営方針

各種研修会や講演会の企画・立案・実行等の運営及び調整(生涯教育基本、実務、演習等)
 研修事業の情報共有・啓発活動
 認定管理栄養士・栄養士の書類認定審査の確認
 生涯教育の単位振替、自己研鑽の単位審査、修了証書の発行等

③ 学術部 運営方針

静岡県栄養士大会の企画・立案・実行等の運営及び調整

④ 広報部 運営方針

ホームページへの情報提供
 メールマガジンの配信

⑤ 地区事業部 運営方針

新型コロナ感染防止対策を踏まえ、開催方法を模索しながら、各地区の実情に即した研修会を企画・実施し、会員の資質向上および会員間の連携・交流を図る。また、地域密着型のイベントを企画・開催することにより、公益法人として県民の健康長寿の延伸に寄与する。

- ①代表者会議において、9地区の企画・運営の調整を図る。
- ②多職種協働で、市町の利点を活かしたイベントに参加協力し、他職種との連携を強化する。
- ③研修事業部と協力するなど、各地区のニーズに合わせた参加しやすい研修会を企画する。
- ④会員増に向け、管理栄養士・栄養士の身近な情報発信を行う。

⑥ 静栄DAT 運営方針

災害時に、栄養支援活動の出来る職能団体としての資質を保持し続けるため、日本栄養士会が組織するJDA-DAT及び県災害対策室との連携強化を図る。また、県市町の地域防災計画が具体的に進む中で、栄養士会としてどのような対応ができるのかを示していく。

- ①感染症への対応も含めた災害対策マニュアルの作成とアクションカード作成による初動体制の強化
- ②県防災訓練への参加をととして特殊栄養食品ステーションの設置場所などを検討
- ③栄養士会事務所に特殊栄養食品の備蓄
- ④JDA-DATスタッフ及びリーダーの育成及びスキルアップ

⑦ 会員増対策委員会

会員数は年々減少の一途をたどっている。平成28年度から交流会の開催などを実施してきたが、参加者の増加に至っていない。令和3年度は、魅力ある研修会だけでなく、会員のニーズを抽出するアンケートの実施、定期的な遠隔サロンの開催を企画し、会員の退会を減ずる取り組みを講じていく。また、本年度も県内養成校および保健所と連携して、新卒者を対象とした事業を展開し、特に、栄養士(管理栄養士)登録時には、入会案内パンフを配付する取り組みについて、今年度も継続して実施する。

⑧ 顕彰選考委員会

長年にわたり栄養改善事業に尽力され、功績があった会員が受賞から漏れることが無く、多くの会員に受賞していただくため、平成29年度「顕彰選考委員会」を発足させた。現行の静岡県栄養士会表彰規定(平成11年5月17日施行・平成11年1月30日一部修正)の改定および整備を行い、表彰候補者の抽出、推薦方法、推薦委員会の役割等を会員にホームページなどを通じて周知を行う。表彰の種類は静岡県栄養士会会長表彰、日本栄養士会会長表彰、静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰、公衆衛生事業功労表彰等、多くの顕彰候補推薦依頼がある。

(2)関連団体会議への委員等就任

① 静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内 容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、静岡県の健康増進計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

② 静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内 容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を阻害する要因である糖尿病等の生活習慣病の該当者、予備群の減少を目指し、地域保健・職域保健関係機関との総合調整を図り、特定健診・特定保健指導のより効果的・効率的な実施について協議する。

③ 静岡県がん診療連携協議会支持療法部会

主催者	静岡県立静岡がんセンター
内 容	国は、拠点病院等における医療従事者間の連携を更に強化にするため、カンサーボードへの多職種の参加を促しており、専門チーム(緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等)により、一人ひとりの患者に必要な治療やケアに関し連携強化を図るよう環境整備を推進している。 静岡県のがん診療拠点病院における協議会の「相談支援」「緩和ケア」「支持療法」の3つの部会の中の「支持療法部会」に委員として参加協力している。

④ 静岡県男女共同参画推進会議

主催者	静岡県くらし・環境部男女共同参画課
内 容	家庭や地域、学校、職場等、社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組をより強化するために、民間団体の主体的な取組を推進するためのネットワーク組織である。 会議には、男女共同参画の趣旨に賛同する80の民間団体が加入し、研修会などの自主的な取組を行っている。

⑤ 静岡市食育推進会議

主催者	静岡市健康づくり推進課
内 容	食育基本法に基づき、静岡市食育推進計画の推進及び進行管理のため、市民や食育の推進に関係する団体が参加して協議する。

⑥ 静岡県8020推進住民会議

主催者	静岡県8020推進住民会議(事務局:静岡県歯科医師会)
内 容	静岡県条例に基づき、8020推進運動をととして、県民の健康な生活を確保し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に寄与するため、8020推進員の育成及び様々な8020運動の普及啓発活動を実施する。

⑦ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

主催者	静岡県健康福祉部長寿政策課
内 容	県民が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるよう地域包括ケアシステムの構築を実現するため、医療・介護をはじめとする専門職の連携を強化している。 市町における地域包括ケア推進体制の整備に繋げるため、地域包括ケア推進に関わりのある団体が意見交換する。

⑧ しずおか健康いきいきフォーラム21

主催者	公益財団法人 しずおか健康長寿財団
内 容	県民が心身共に健やかに暮らすことができる“ふじのくに”づくりに向け、県民総参加の「健康づくり県民運動」の推進を図り、県民の健康増進に寄与するため、県民への健康づくりに関する普及啓発活動や各種団体の交流、研修事業等を行う。

公益社団法人静岡県栄養士会令和3年度収支予算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計	備 考
	公1	公2	共通	小計	収1	小計	小計				
I 一般正味財産増減の部											経常収益計 23,801,000円
1. 経常増減の部											◆公益目的事業 18,222,100円
(1) 経常収益											1 公1 経常収益計 8,250,000円
基本財産運用収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 事業収益 8,250,000円
中科目別記載											1) 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業委託(静岡県委託) 2,580,000円
特定資産運用収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2) 庄内から繋がる地域包括推進事業(静岡県委託) 1,000,000円
特定資産受取利息											3) 元金を見つめる外食推進活用事業(生活衛生指導センター委託) 990,000円
受取入会金	0	0	65,500	65,500	0	0	0	65,500	0	65,500	4) 食品成分表示適正化・活用普及事業(静岡県委託) 690,000円
受取入金金			65,500	65,500				65,500		65,500	5) 富土宮市食文化推進プロジェクト事業(富土宮市フードパントリー推進協議会委託) 400,000円
受取金費			9,681,800	9,681,800				5,274,400		5,274,400	6) 販店向け「健康な食生活」推進事業 2,000,000円
正会員受取会費	0	0	7,911,600	7,911,600	0	0	0	5,274,400	0	5,274,400	7) 栄養ケア・マナー講座 240,000円
賛助会員受取会費	0	0	1,770,000	1,770,000	0	0	0	0	0	0	8) 販店店員人(マナー広告) 240,000円
事業収益	8,250,000	0	0	8,250,000	10,000	10,000	10,000	40,000	0	40,000	2 雑収益 0円
栄養改善、健康づくり等事業収入	4,670,000			4,670,000							II 公2 経常収益計 225,000円
疾病予防、食生活改善及び食育等事業	1,340,000			1,340,000							1 受取負担金 175,000円
栄養75プロジェクト他販売事業	2,000,000			2,000,000	10,000	10,000	10,000				受取利息(公1)×50人=50,000円、生涯教育研修会
広告掲載料収入	240,000			240,000				40,000		40,000	受取利息(公2)×30人=105,000円(生涯教育研修会)
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 雑収益 50,000円
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	庶小委員会 @5,000円×10社=50,000円(栄養士大会 10社)
受取負担金	0	175,000	0	175,000	0	0	0	0	0	0	共通 9,747,100円
受取負担金	0	175,000		175,000							1 受取入会金 65,500円(新入会員)
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 受取会費 5,274,400円(正会員費)
受取寄付金											3 広告掲載収入 40,000円(封筒広告料 40,000円)
雑収益	0	50,000	0	50,000	0	0	0	188,000	0	188,000	4 雑収益 189,000円
受取利息								1,000	0	1,000	庶小委員会 @5,000円×10社=50,000円(定時総会 10社)
雑収益	0	50,000		50,000				188,000		188,000	日米半精手数料、賛助会員封入手数料、受取利息 139,000円
経常収益計	8,250,000	225,000	9,747,100	18,222,100	10,000	10,000	10,000	5,569,900	0	23,801,000	

(単位:円)

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合計	摘 要
	公1	公2	共通	小計	収1	小計				
(2)経常費用										経常費用計 23,611,000円
事業費	15,123,951	3,843,722	0	18,967,673	150,704	150,704		0	19,118,377	◆公益口の事業 18,967,673円
材料費	0	0		0	1,000	1,000			1,000	I 公1 経常費用計 15,123,951円
給料手当	3,860,638	854,856		4,715,495	48,259	48,259			4,763,754	1) 健康栄養知識普及事業 775,174円
福利厚生費	529,200	117,180		646,380	6,615	6,615			652,995	2) 健康づくり啓発協力事業 191,541円
会議費	0	25,000		25,000	0	0			25,000	3) 在宅介護者への食生活支援事業 130,864円
旅費交通費	801,770	1,419,735		2,221,505	2,425	2,425			2,223,930	5) 食品表示適正化・活用普及事業(静岡県委託) 776,541円
通信運搬費	819,290	87,120		906,410	3,800	3,800			910,010	6) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業(生活衛生営業指導センター委託) 445,654円
減価償却費	0	0		0	0	0			0	7) 飲食店向け「健康な食事」推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 395,654円
研究研修費	0	0		0	0	0			0	8) 正食を以てつめる外食店推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 1,122,197円
消耗品費	864,100	211,200		1,075,300	1,500	1,500			1,076,800	9) 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業業務(静岡県委託) 3,258,536円
修繕費	63,200	12,100		75,300	500	500			75,800	10) 電療ケア・ステーション事業 5,502,929円
印刷製本費	103,500	21,000		124,500	0	0			124,500	11) 広報事業 846,325円
広報費	0	0		0	0	0			0	II 公2 経常費用計 3,843,722円
光熱水料費	56,880	10,890		67,770	450	450			68,220	1) 定時総会講演会他各種研修会 1,934,114円
賃借料	558,470	251,385		809,855	2,925	2,925			812,780	2) 地区別健康づくり推進研修会 1,036,804円
地代家賃	981,486	187,913		1,169,409	7,765	7,765			1,177,174	3) 生涯教育基本研修会 398,100円
贈謝金	5,921,030	521,750		6,442,820	200	200			6,443,020	4) 災害時食糧支援研修会 474,701円
租税公課	302,728	57,959		360,687	73,395	73,395			434,082	◆収益事業費用計 150,704円
保険料	75,840	14,520		90,360	600	600			90,960	販売等の事業 150,704円
渉外費	6,320	16,710		23,030	50	50			23,080	
支払寄付金	0	0		0	0	0			0	◆公益法人会司経常費用 4,492,623円
委託費	166,848	31,944		198,792	1,320	1,320			200,112	
有価証券運用損	0	0		0	0	0			0	
雑費	12,640	2,420		15,060	100	100			15,160	

(単位:円)

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計	摘 要
	公1	公2	共通	小計	取1	小計					
管理費								4,492,623	0	4,492,623	
役員報酬								0		0	
給料手当								2,130,246		2,130,246	
退職給付費用								0		0	
福利厚生費								292,005		292,005	
会議費								261,000		261,000	
旅費交通費								117,370		117,370	
通信運搬費								174,240		174,240	
減価償却費								0		0	
消耗品費								72,600		72,600	
修繕費								24,200		24,200	
印刷製本費								0		0	
広報費								0		0	
光熱水料費								21,780		21,780	
賃借料								141,570		141,570	
地代家賃								375,826		375,826	
贈謝金								9,680		9,680	
租税公課								115,918		115,918	
保険料								29,040		29,040	
交際費								2,420		2,420	
委託費								719,888		719,888	
有価証券運用損								0		0	
雑費								4,840		4,840	
經常費用計	15,123,951	3,843,722	0	18,967,673	150,704	150,704	4,492,623	0	0	23,611,000	

(単位:円)

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計	摘 要
	公1	公2	共通	小計	収1	小計	小計				
経費損益等調整前当期経常増減額	△ 6,873,951	△ 3,618,722	9,747,100	△ 745,573	△ 140,704	△ 140,704	△ 140,704	1,076,277	0	190,000	
基本財産評価増減等	0	0	0	0	0	0	0			0	
特定資産評価増減等	0	0	0	0	0	0	0			0	
投資有価証券評価増減等	0	0	0	0	0	0	0			0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 6,873,951	△ 3,618,722	9,747,100	△ 745,573	△ 140,704	△ 140,704	△ 140,704	1,076,277	0	190,000	
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
中科目別記載				0		0	0			0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用											
中科目別記載				0		0	0			0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額				0		0	0			0	
当期一般正味財産増減額	△ 6,873,951	△ 3,618,722	9,747,100	△ 745,573	△ 140,704	△ 140,704	△ 140,704	1,076,277	0	190,000	

事業 年度	自	令和3年4月1日	法人コード	A005293
	至	令和4年3月31日	法人名	公益社団法人静岡県栄養士会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	用途
			円	
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	
			円	